

〈図画工作科〉 6年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・ 日常的にお互いの活動の良さを認め、自分の作品に取り入れるなど相互の鑑賞ができています。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・ 材料や素材、用具など様々なものをきっかけにイメージをふくらませて活動している。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・ 図工の時間を楽しみにしており、児童同士の関係も良好であるため、伸び伸びと自分らしい表現に取り組んでいる。
- ・ 既習の技能を生かして活動したり、新たな表現方法を試したりして表現している。難しい技能が伴う活動にも前向きに取り組む。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・ 表したい感じや主題にあわせて、材料や用具を生かして活動すること。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・ 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、どのように主題を表すかについて考えること。
- ・ 既習の技能を総合的に活かして課題に取り組むとともに、表現に適した方法などを組み合わせるなどして工夫して表すこと。
- ・ 日本や諸外国の美術作品に触れ、その表現方法や感じ方などについて自分なりの見方を文字や言葉で表したり、話し合ったりする。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・ 主体的に表現したり鑑賞したりする様子が見受けられる。中学校に向けて、社会や生活を豊かにすることにも目を向けて学びを広げることが必要である。
- ・ 自分や友達の作品のよさや工夫したことに注目しながら、自分の見方や感じ方を広げる。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・ 身につけてほしい技能や方法を段階的に身につけられるようにスモールステップで授業を考える。
- ・ 材料や道具を応用的に使えるように、既習の学習に加え発展的な使い方を示す。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・ ワークシートやアイデアスケッチを効果的に用いることで作品のイメージや活動の見通しを持ちやすくする。
- ・ 材料や道具との出合わせ方を工夫し、表現の可能性を示すことで発想の幅を広げる。
- ・ 課題の中でいろいろな表し方を試みたり工夫したりできるようにする。
- ・ 互いの作品を見合う場を設定し、見つけたよさや美しさを自分の作品に取り入れたり、文字や言葉で表したりする活動を行う。
- ・ 美術作品を鑑賞し、感じたことや思ったことを話し合い、表し方や表現の意図、特徴等を自分の表現に取り入れられる題材を工夫する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・ 身の周りの環境や材料の色や形に興味をもてるように、課題や材料の提示方法や導入を工夫する。
- ・ 美術作品や身近な作品などを見せ、様々な表現があることを伝え、作ったり表したりする意欲を高める。